

外郭団体評価調書【公益法人用】

基本情報

平成21年7月1日現在

団体名	財団法人 新潟インダストリアルプロモーションセンター				
所在地	新潟市中央区学校町通1番町602-1				
電話番号	025-224-0550	代表者職氏名 所属・肩書	理事長 和田 裕生 〔新潟市副市長〕		
設立年月日	平成3年11月11日	所管課	産業政策課		
ホームページ	http://niigata-ipc.or.jp/ipc/	E-mail	info@niigata-ipc.or.jp		
基本財産 (資本金)	89,460 千円	その他 出資者	氏名・名称	出資等額	出資等比率
市出資等額	50,000 千円		(協)新潟木工センター	1,500 千円	1.7 %
市出資等割合	55.9 %		(株)北村製作所	1,000 千円	1.1 %
			(株)北越製紙	1,000 千円	1.1 %
			一正蒲鉾(株)	1,000 千円	1.1 %
		その他	34,960 千円	39.1 %	
設立目的	新潟市及びその周辺市町村における中小企業等が営む工業等について、その生産品の紹介、人材確保に対する支援、経営の指導、技術の普及等に関する事業を行うことにより、地域産業の健全な育成及び振興を図り、もって活力ある地域経済社会の形成並びに地域住民の生活の向上及び福祉の増大に寄与することを目的とする。				
経営理念 経営方針	寄附行為に規定した事業を実施することにより、地域経済・企業の活性化を図る。				

組織等の状況

役職員数

(単位:人)

	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度
役員数	14	13	14	14
常勤	0	0	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	14	13	14	14
市兼任	3	2	2	2
市職員OB				
他団体兼任	11	11	12	12
その他				
職員数	10	12	16	25
常勤	0	0	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員				
他団体からの派遣				
非常勤	10	12	16	25
市兼任	10	12	16	24
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等				1

職員の状況及び年齢構成(役員兼任の職員を含む)

(単位:人)

		合計	市派遣・兼任	市職員OB	プロパー	他団体派遣・兼任	臨時・嘱託等
職員の状況	管理職	3	3				
	一般職	22	21				1
	合計	25	24	0	0	0	1
年齢構成	20代以下	1	1				
	30代	10	10				
	40代	8	8				
	50代	5	5				
	60代以上	1					1
	合計	25	24	0	0	0	1

給与等の概要

給与等の状況	常勤役員の平均年収 千円	常勤プロパー職員給与		
		初任給		平均年収
		大卒 高卒	円	千円
常勤プロパー職員の給与体系	現在の給与体系		見直しの予定	
	団体独自の給与体系		有	予定時期 年 月
	市の給与体系を準用		無	
	その他〔 〕		その他〔 〕	

経理の適正化の状況

専門家による監事・監査役就任			専門家による会計指導		
✓	有	就任時期 16年度から 依頼先職種〔公認会計士〕	✓	有	依頼時期 16年度から 依頼先職種〔公認会計士〕
	無			無	

事業の概要

主要事業の概要

事業名		区分1	区分2	事業の内容			
総合相談窓口開設事業		公益	自主	産学官連携によるワンストップ総合相談窓口の開設			
実施状況	事業規模	収支区分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度予算
		費用		2,505千円	1,777千円	2,121千円	3,026千円
	活動指標・成果指標		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度目標
	相談件数		件	36	75	106	115
連携協議会の開催		回	-	16	6	6	

事業名		区分1	区分2	事業の内容			
情報収集・マッチング事業 (販路拡大支援事業)		公益	自主	企業間取引や連携を促進させるために、企業情報の収集と提供を行う。 また、見本市を活用し販路拡大を支援する。			
実施状況	事業規模	収支区分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度予算
		費用		11,015千円	12,235千円	12,330千円	11,782千円
	活動指標・成果指標		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度目標
	企業情報データベース登録件数		件	461	466	481	500
支援企業数		社	19	28	26	30	

事業名		区分1	区分2	事業の内容			
事業高度化支援事業 (地域産業活性化事業)		公益	自主	研究開発や人材育成に必要な資金や情報・場を提供することで、企業の事業高度化を支援する。			
実施状況	事業規模	収支区分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度予算
		費用		2,177 千円	2,230 千円	8,902 千円	20,026 千円
	活動指標・成果指標		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度目標
	セミナーの開催		回	5	5	5	5
産業活性化講演会の開催		回	1	1	1	1	

C

事業名		区分1	区分2	事業の内容			
北京事務所事業		公益	自主	発展する中国の経済情報の収集や提供を行う。			
実施状況	事業規模	収支区分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度予算
		費用		4,775 千円	31,942 千円	28,164 千円	40,104 千円
	活動指標・成果指標		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度目標
	中国における新潟のプロモーション		回		7	14	6
	中国人視察団の誘致 (北京事務所関連)		人	7	8	0	18
	事務所訪問の受入		回		105	73	80
「北京消息」の発行(情報誌)		回		4	5	6	

その他各種指標

指標の内容	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度 目標・予定	中長期目標	
						目標値	年度

財務の状況(平成16年改正会計基準)

正味財産増減計算書

(単位:千円)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
一般正味財産増減の部	経常収益	20,668	50,945	52,839
	基本財産運用益	191	452	403
	受取会費			
	事業収益	1,381	1,955	2,073
	自主事業収益	1,381	1,955	2,073
	受託事業収益			
	受取補助金等・負担金	19,090	48,511	50,280
	その他収益	6	27	83
	経常費用	19,608	48,622	53,326
	事業費	19,244	24,666	29,578
	自主事業費	19,244	24,666	29,578
	受託事業費			
	管理費	364	23,956	23,748
	その他経常費用			
	当期経常増減額	1,060	2,323	487
	経常外収益		1,227	
経常外費用	3,279	1,432	26	
当期経常外増減額	3,279	205	26	
当期一般正味財産増減額	2,219	2,118	513	
一般正味財産期首残高	6,187	3,968	6,086	
一般正味財産期末残高	3,968	6,086	5,573	
指定増減正味の部財産	受取補助金等・負担金			
	その他			
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	89,460	89,460	89,460
指定正味財産期末残高	89,460	89,460	89,460	
正味財産期末残高	93,428	95,546	95,033	
参考	当期収入	20,668	51,345	52,991
	前期繰越収支差額	4,912	1,465	3,983
	収入合計	25,580	52,810	56,974
	当期支出	24,114	48,827	53,353
	うち収益事業支出			
	うち公益事業支出	19,244	24,666	29,578
	次期繰越収支差額	1,466	3,983	3,621
	人件費	0	8,609	8,609
	うち役員人件費	0	0	0

貸借対照表

(単位:千円)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
資産の部	流動資産	5,881	16,391	28,679
	現金預金	1,261	13,789	23,838
	受取手形			
	未収金	4,620	2,602	4,841
	有価証券			
	その他流動資産			
	固定資産	91,962	91,562	91,411
	基本財産	89,460	89,460	89,460
	特定資産	1,200	800	771
	その他固定資産	1,302	1,302	1,180
	有形固定資産			
	無形固定資産	75	75	75
	その他投資等	1,227	1,227	1,105
	資産の部合計	97,843	107,953	120,090

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
負債の部	流動負債	4,415	12,408	25,057
	短期借入金			
	その他流動負債	4,415	12,408	25,057
	固定負債	0	0	0
	長期借入金			
その他固定負債				
	負債の部合計	4,415	12,408	25,057
正味財産の部	指定正味財産	89,460	89,460	89,460
	うち補助金			
	(基本財産充当額)	89,460	89,460	89,460
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	3,968	6,086	5,573
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)	1,200	800	771
	正味財産の部合計	93,428	95,546	95,033
	負債・正味財産の部合計	97,843	107,954	120,090

市財政支出等の状況

(単位:千円)

項目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	目的,内容,必要性,増減理由等
補助金	11,885	11,928	18,948	
事業費補助金	11,885	11,928	18,948	基本財産の運用に関しては,現状の低金利では事業実施規模に見合う運用益確保は困難である。市の産業施策を実施してことから,補助金・負担金は必要である。
運営費補助金				
設備投資に係る補助金				
負担金	4,775	30,322	24,799	H18年度は,北京事務所開設準備に係る負担金。H19~20年度は,北京事務所運営に係る負担金。
交付金				
委託料				
貸付金 (期中借入額)				
出資・出捐金 (追加額)				
その他				
合計	16,660	42,250	43,747	
貸付金残高				
損失補償契約に係る債務残高				
損失補償限度額				
その他財政援助の状況(税や使用料の減免,建物の無償貸与等)				
・法人市民税の減免(均等割)				
・事務室の無償貸与				

内部留保の状況

(単位:千円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資産の部合計	97,843	107,953	120,090
基本財産	89,460	89,460	89,460
公益事業を実施するために有している基金	1,200	800	771
法人の運営に不可欠な固定資産	1,302	1,302	1,180
将来の特定の支払に充てる引当資産等			
負債相当額	4,415	12,408	25,057
内部留保金額	1,466	3,983	3,622

評価の結果

	評価基準数	得点(の数)	得点率	【自己評価レーダーチャート】
目的適合性	16	16	100.0%	
経営の自律性	27	15	55.6%	
組織・管理運営の適正性	25	23	92.0%	
健全性	21	16	76.2%	
効率性	14	1	7.1%	
合計	103	71	68.9%	

自己評価における評価基準、得点状況等は、巻末の【参考】自己評価一覧を確認してください。

【団体の評価コメント】	目的適合性	<p>地域経済の活性化を図るためには、中小企業等の既存産業の高度化と新産業の創出など内発型産業の育成を図る必要がある。当財団の目的達成のため、社会経済情勢に応じながら政令指定都市における産業支援機関として新潟市の産業施策を共に実施している。今後も公益法人として設立目的に即した事業を行っていく。</p>
	経営の自律性	<p>経営理念や経営方針、中長期経営計画を策定していないが、市の産業施策の一翼を担う団体という財団の特性から市の総合計画・実施計画、戦略プランなどの方針を基本としながら、市と連携、協力を図りながら財団の運営を行っている。</p> <p>激動する経済環境変化する中、中小企業の多様化するニーズに応えるため、財団の抜本的な機能強化に向けて、H21年4月に機能強化検討委員会を設置した。機能強化の方向性や施策・組織・施設等の報告結果を、評議員会・理事会に図り、経営理念の策定など経営の自立性を高めていく。</p>
	組織・管理運営の適正性	<p>職員については、大多数が市職員による兼務であることから、組織、人員構成、人材育成等は市の方針によるところが大きい。契約事務のほか、財団管理事務や情報公開などは市の基準に準じた適切な事務処理に努めている。なお、機能強化検討委員会の報告を踏まえて、プロジェクトマネージャー等専門人材の雇用など、適正性を保ちながら、段階的に実施していく。</p>
	健全性	<p>現在、低金利により運用益が期待できないことから、市に対する財政的依存度は高いが、借入金や累積欠損金等はなく健全性は保っている。財源の確保については、平成18年度より国等の競争的資金の積極的な獲得を図ったところであるが、20年度は新たに地域資源に係る国県補助金を獲得した。今後も新たな財源の確保に努めながら、財政の健全化を図っていく。</p>
	効率性	<p>公益事業の実施を基本としていることから、職員一人当たり売上高、経常利益、管理費比率、人件費比率などによる効率性の評価は馴染まないと考える。</p> <p>H19年度は、新潟市と共同で設置した北京事務所の影響で新たに管理費が増大したが、事務の効率化を図りながら、常に経費の縮減に努めている。</p> <p>機能強化検討委員会の報告を踏まえて、プロジェクトマネージャー等の専門人材の配置などによる組織体制を充実させる際には、効率性について検討していく。</p>
	総括的な所見	<p>財団の中小企業支援機能の抜本的な機能強化に向けて、外部有識者を含めた財団機能強化検討委員会を設置し、専門人材の雇用や支援施設の設置などを通じて、相談機能の強化、新製品開発、販路拡大などの支援、研究開発プロジェクトの推進など、中小企業から求められる産業支援機関とするよう検討している。</p> <p>これらの検討結果を踏まえて、中小企業から信頼され利用しやすい財団にするため、各種施策や組織体制の充実、支援施設の設置など機能強化を図る一方で、他団体と連携しながら効果的な事業実施を図り、効率的な運営に努めていく。</p>

【所管課による評価】	現状に対する評価
	当財団は市の産業施策の実行機関として設立され、これまで市と連携しながら地域経済の活性化を図るため各種事業を展開してきた。また、外部人材を積極的に活用し相談機能や相談体制の充実を図りながら企業の経営課題に対応するなど事業を拡充しており、産業支援機関として地域産業の振興・発展に大きく貢献していると認められる。
	課題及び改善すべき事項
	中小企業が厳しい経営環境を克服し活力ある成長を遂げられよう、企業の成長段階や経営課題に応じた中小企業支援が求められ、財団内に機能強化検討委員会を設置して検討している。 その検討結果を踏まえて、常設の相談窓口の設置による相談機能の強化や組織体制の充実など、具体的な機能強化策の実施について、所管課として全面的に協力していく。
	今後の指導方針
	当財団は市の産業政策の実行機関として位置づけられていることから、市からの補助金や負担金が財源の多くを占めており、財政的依存度は高い。当財団は国等の競争的資金を獲得するなど財源確保に努めているが、今後も引き続き新たな財源の確保への取り組みや運営経費の節減、効果的で効率的な事業執行など指導協力していく。

【今後の取り組み】	常設の相談窓口の設置や、事業高度化や販路拡大支援、研究会などによる研究開発支援などによる機能強化のため、プロジェクトマネージャー等専門人材の雇用等による組織体制の充実、新たな事業の実施、支援施設の設置について検討し、段階的に実施する。
	22年度に予定している公益認定申請のため、定款の作成や新会計基準への対応などについて、具体的に実施する。

	概ね良好	改善の余地がある	✓	改善が必要	抜本的な対応が必要
【総合評価】	総括的な所見				
	<p>団体は、市の中小企業支援による地域経済の活性化を目的に、市の産業政策を実行する組織として設立された。市や民間企業からの出捐金が小額のため、十分な運用益を確保ができない状況であることから、事業費の約83%を市からの補助金に依存し、また25人職員のうち24人が市職員が兼務している。自主財源の確保など財政面で自立することは困難である。</p> <p>本年度、中長期的な事業の方向性を明らかにするため財団内に機能強化検討委員会を設置し、機能強化に向けた検討がなされたほか、プロパー職員（非常勤職員）を1名雇用し今まで取り組めなかった事業の進捗など、改善に向けた取組みは見られるが、団体として必要な経営理念や運営方針などが策定されていないことから、改善の必要がある。</p> <p>21年4月から外部専門家を含めた機能強化検討委員会で、重点施策、組織強化、支援施設などの方向性が示され、市と連携を保ちながら進めていく予定である。</p> <p>公益法人移行認定申請については、(財)新潟地域産業振興センター解散に伴う残余財産の引継ぎ後に対応する予定である。</p>				
	今後の取り組みに対する評価、改善指示事項				
	団体は市の産業政策推進の一翼を担う実行機関とし、自ら経営理念、運営方針を定め、事業の達成状況が検証できるなどの取り組みが必要である。				

総合評価を受けての団体としての決意

平成21年11月	理事長	和田 裕生
<p>本市の産業施策の一翼を担う団体として、中小企業から求められる支援事業を実施するため、財団の機能強化を図ります。具体的には中小企業支援の拠点となる(仮称)ビジネス支援センターの設置や、財団の組織、支援事業などの見直し、また経営理念の策定など中長期の方向性の検討などを行います。さらに、プロジェクトマネージャー等の専門人材を雇用することで、相談から成果に繋がるまで継続的な一貫した支援としてコンサルティング機能を強化するなど、新たな事業の実施に積極的に取り組みます。</p>		